



市民平和の会
草野 勝義 議員

問一 島原市公共交通政策

Q 島原鉄道と連携し、市民の足を守り、まちの活性化に向け、対外的に地域公共交通支援体制強化の働きかけを。

A 高齢者の社会参加、まちづくりや観光、福祉など様々な分野でも地域公共交通の確保・維持は重要。島鉄をはじめ関係機関との連携により、地域にとつて最適な交通システムの構築を協議していきたい。

Q 島原駅に障がい者専用トイレの設置を。

A 駅の構造上、設置は厳しいと聞かすが、島原駅でも障がい者の方がバスや鉄道を利用されるので、改めて設置を要望したい。

Q 路線バスの及ばない地域において、移動対策は。

A 地域生活密着型の小回りのきくバスを走らせた。島鉄と協議に入っている。

問一 障がい者雇用

Q 中央省庁による障がい者雇用水増し問題についての見解は。

A 本市では、障がいがある人の雇用基準は一定クリアしているが、積極的に一緒に働いてもらえるような方向で進めていくべきだと考える。

Q 島原市全体での障がい者雇用率は。

A ハローワーク島原管内で法定雇用率の対象となる50人以上の企業の障がい者実雇用率は3・14%。

Q 障がい者雇用を引き上げる施策は。

A 障がい者の職場実習促進事業に取り組み、昨年度は4人、本年度は2人が一般就労につながっている。

【その他の質問項目】

◇働き方改革について、市役所職員がメンタルヘルス対策やワーク・ライフバランスの推進策、教員の長時間労働解消策を問う。
◇学校での安全対策について、児童生徒の熱中症予防対策と遊具点検を専門業者で行うことを問う。



新風会
本田 順也 議員

問一 漁業振興

Q 大三東漁港の港湾内に砂が入っているが、いつから整備に取りかかっているのか。

A 平成29年に国から工事の承認を受けた。港湾内に堆積している砂の浚渫とあわせ、港の北側に砂の侵入を防ぐための防砂堤を整備するもので、漁業者との協議調整を図りながら年度内の完成を目指している。

Q 大三東漁港内のはしご整備についてどうなっているのか。

A 市が管理している6つの漁港のうち1つである。漁協において意見を集約し要望してもらおうようお願いしている。

Q 有明湯江漁港の浮桟橋の老朽化が激しいが、どのように考えているのか。

A 平成21、22年度の2か年にわたり、有明漁協が国の事業を活用し整備をしたもの。耐用年数は10年で、平成28年に市から型枠用合板を支給し漁業者が補修している。地元漁協と相談をしていきたい。

Q 大三東漁港埋め立てについて①現在はどういう状況なのか。②市としての取扱いはどうなっているのか。

A ①旧有明町と旧有明漁協とで幾度となく贈与に関する協議が行われ、合併直前の平成17年12月の旧有明町議会において大三東漁港埋め立てを無償譲渡することが可決されている。しかし、漁協側の費用負担や後継者問題等により現在まで譲り受けがなされていない状況である。

②市としては、平成24年12月から漁協からいただいた寄附金に利息を加えた額で交渉を進めており、平成26年8月に有明漁協に対し市からの提案について、書面による回答を求めているが現在まで回答がない。有明漁協の組合としての総意を示してもらいたい。

【その他の質問項目】

◇市役所職員の職場環境について
◇学校教育の基本について

